

会報

龍の新時代



P 1
P 3
P 5
P 7
P 9
P 11
P 13

会長挨拶
一見先生藍綬褒章祝う会
学術研修会・鹿の解剖
総合防災訓練
全国大会 in 近畿
三県合同研修会
全国師会長会議

／ P 2
／ P 4
／ P 6
／ P 8
／ P 10
／ P 12
／ P 14

副会長挨拶
世界マスターズ水泳
学術研修会
お伊勢さんマラソン
生きている人の解剖実習
東海北陸ブロック会議
理事会報告

表紙写真 海山道神社



「新年のご挨拶」

会長 岡田 賢

この度の2024年能登半島地震により被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

地域の皆様の安全確保、一日も早い復旧・復興を衷心よりお祈り申し上げますとともに、被災地支援・復旧に全力を尽くされている関係者の皆様に深く感謝申し上げます。被災された皆様が1日も早く元の生活に戻る事を心より祈念申し上げます。

日鍼会からは、今回の災害に際し令和6年能登半島地震日鍼会災害対策本部を設置し、災害レベル3（広域支援対応）として被災地支援等行っていく旨の連絡がありました。石川県庁の医療福祉調整本部内にDSAM（災害支援鍼灸マッサージ師合同委員会）の調整窓口を開設し、現地支援活動の参加者を募集しておりますのでご協力くださいますようお願いいたします。また、日鍼会では継続的に支援活動を行っていくための「災害支援寄付金」も受け付けておりますのでご支援の程重ねてお願い申し上げます。

もうすでに本会からも数名、ボランティア支援活動に登録されております。広域支援などを必要とする激甚災害の避難所などにおいて鍼灸施術はその力を最大限に発揮されるはずです。現地支援活動にご参加いただいた会員の皆様には、会員と経験を共有するためにぜひその体験をお聞かせいただきたいと思います。

この地方においても以前より東南海地震発生の危険性が指摘され、この大地震は100～200年の周期性があり21世紀前半にも発生する可能性が高いとされています。災害に対する備えと心構えは常に持ちたいものです。この地方の災害時、本会会員の助け合いが必要になります。平素から各支部を中心とした「顔の見える関係」の構築をお願いするとともに、本会としても今後会員同士の親睦を深める機会を積極的に増やしていきたいと思っております。

皆様ご存じのように本会は三重県と「災害時におけるはり師およびきゅう師の業務提供に関する協定」を締結していることもあり、昨年11月には組織委員会および青年委員会が中心となり鳥羽地区で行われた「三重県防災訓練」にも参加し、また今年1月にも特定非営利活動法人みえ防災市民会議が開催する「三重県の平時の被災者支援協働プラットフォーム」に事務職員の阪井さんに参加いただき団体登録を行いました。今後特に問題がなければ上記プラットフォーム構築賛同・参画団体として活動し、異業種の団体とも意思疎通が図れる関係性を構築し、鍼灸医学の普及も行っていきたいと考えております。

本会定款には「本会は、鍼灸学術を振興し、鍼灸業務を通じて福祉の増進、公衆衛生の向上に関する事業を行い、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とする」と謳われています。この文章の意味を再びかみしめ、鍼灸医学の力を信じ活動していかなければと心に誓う年頭になりました。

最後になりましたが、会員の皆様の今年1年が楽しく充実した1年になりますようお祈りしますとともに、本会活動に是非ともご協力くださいますようお願いいたします。



「新年のご挨拶」

業務執行理事 / 副会長 / 保険委員長
楠原 秀一

このたびの能登半島地震に被災した地域の方に心からお見舞い申し上げます。

昨年より、今年の干支となる辰年は「陽の気が動いて万物が振動することで、活力旺盛になって大きく成長し、形が調う年」「大きな変化が起きることが多い年」という話題を聞く機会がよくありました。

その話題と年初から続くニュースによりいろいろと考えます。変化があるといっても物事にはそれまでのさまざまなことが用意され、要因が重なり現れます。

新型コロナウイルスの五類移行に伴い、本会の事業も新たな取り組みを交えながら行っております。われわれ鍼灸師の目線と外部からの視線、方向性の違いが生じることもあります。辰年に大きな変化があるならば、その状況をよく見て変化に順応し、うまく波に乗り今後に向けて動き出すため皆様と活気にあふれるスタートにしていきたいと思います。



「新年のご挨拶」

業務執行理事 / 副会長 / 法人管理委員長
新谷 有紀

元日に発生した令和6年能登半島地震により亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに被災されました皆様にお見舞い申し上げます。そして一日も早く平穏な日々が戻りますよう心から願います。日鍼会からの支援要請が届いています。今後、復旧までさまざまな継続した支援が必要になります。被災された方々に寄り添い力になれるよう会員皆様のご協力をお願いいたします。

そして有事に備えていくことを会員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。定例行事の後などに意見交流の場を設け心やすい関係作りを築けるような企画を委員会で考えてもらっています。今、つながりを持ち仲間を増やし組織力を強化することは未来につながる重要な課題と感じています。ぜひご参加ください。今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

<<令和6年能登半島地震の支援金のお願い>> 公益社団法人日本鍼灸師会から皆様へ

それぞれのお立場ですすでにご寄付等の手を差し伸べておられる方も多いことと存じますが、何卒事情をご高察のうえ、会員の皆様方からの温かいご支援を心よりお願い申し上げます。

●日本鍼灸師会 災害支援寄付金（ニホンシンキュウシカイ サイガイシエンキフキン）

☆ゆうちょ銀行 00170-4-634852

（他金融機関から振込みの場合）

☆ゆうちょ銀行 〇一九店 当座 0634852

日本鍼灸師会HP「令和6年能登半島地震の支援金のお願い」

<https://www.harikyuu.or.jp/9891/>

一見隆彦先生藍綬褒章受章を祝う会を開催して

令和5年10月1日(日)

都ホテル四日市伊勢の間

去る10月1日(日)、四日市都ホテルにおいて「一見隆彦先生藍綬褒章受章を祝う会」を開催いたしました。当日は秋らしい爽やかな晴天の下、一見先生の受章を祝うために国会議員・県会議員の先生方をはじめ、ご友人、鍼灸業界関係者、ご親類の総勢90名が全国各地より参集し、新谷副会長司会進行のもと、仲家監事の開会の辞により幕が上がりました。各界のご来賓の温かいご祝辞を拝聴しながら、改めて一見先生のご交友の広さ、功績の大きさに感じ入りました。

本会からの記念品並びに花束贈呈、一見先生の謝辞に続きお待ちかねの祝宴です。一見先生の同級生ピアニストの優雅な演奏を聴きながら美味しい料理とお酒をいただき、一見先生ご夫妻が各卓にあいさつされる間に楽しいエピソード満載のテーブルスピーチ。功績と思い出写真によるムービー上映では、参加者が食事の手を止めスクリーンに注目する姿が印象的でした。続いて、叙勲・褒章を受章するも折からのコロナ禍で天皇陛下への拝謁がかなわず、祝賀会も開催されなかったご友人を壇上に招き、お一人お一人を紹介された一見先生らしい細やかなお心遣いに敬服された方も多かったのではないのでしょうか。

受章に際しお世話になった方々並びにご参集の皆様にお礼の気持ちを込めたエンディングムービーの上映、中締め、楠原副会長による閉会の辞で楽しい祝宴も幕を閉じました。

終宴後、皆様が笑顔でお帰りになる姿を拝見し、「温かい祝う会」にすることができたかなと、実行委員一同、胸をなでおろしました。皆様、お疲れさまでした。そして改めまして、一見先生おめでとうございます。
(報告：桑名・いなべ支部 岡田 賢)



一見先生と奥様



あいさつをされる一見先生



授章をされた業団のご友人



三重県鍼灸師会会員と



三重県鍼灸師会会員と



来賓の議員のみなさま

世界マスターズ水泳選手権2023 in 福岡活動報告

令和5年 8月 4日～11日 マリンメッセA館

「鍼灸の将来性と重要性を感じた福岡」

8月4日から8日間福岡で行われました世界マスターズ水泳選手権にボディーケアサポートスタッフとして3日間でしたが参加しました。私自身スポーツに対する専門的施術の知識や技術を持っているわけではないですが、福岡県鍼灸マッサージ師会の先生方によるボディーケアサポート参加事前講習会を行っていただいたことで不安が取り除かれました。講習会の内容はスポーツ鍼灸マッサージの定義から世界マスターズ水泳選手権大会に参加される選手は国の代表選手として参加されている事、安全ガイドラインなどサポートに参加する心得、実技は鍼とマッサージ、ストレッチと幅広い内容でした。

1日目、朝から先生方と学生で、多くの選手をボディーケアできる様に受付から治療ベッドへの導線を考えて会場を作り。会場作りが終えると練習を終えた選手が続々とボディーケアを受けに来ました。1日目は100名以上、2日目は150名以上、3日目には190名と日に日にボディーケアを受ける選手が増え、大会半ばでは1日に300名以上の選手がボディーケアを受けに来ていたそうです。ボディーケアを受けられた選手の割合は、日本の選手6割、海外の選手が4割で、選手の大半は初めて受けた方々でしたが、受けた感想が「体が楽になる」「速攻性がある」「痛みが取れる」など好印象を持たれました。

効果を実感され次回の予約をして帰られた選手が多数おられました。国内外問わず、鍼の良さや鍼は身近なものと認識していただける様に周知して行く事が今まで以上に必要だと思いました。

体型や筋肉の違いは見た目からわかります。体に触れる事で筋肉の質、量、固さ、太さなど違いが、はっきりと実感したことは自分自身貴重な体験と知識に成りました。

これからいろいろな所でイベントが開催されます。参加する事で他県の先生方と知り合い、知らない手技を教えていただくことがありますのでぜひチャンスがある時はチャレンジして自分を高めてください。

(報告：津支部 水谷 浩樹)



第2回学術研修会

「鍼灸師に必要なメンタルヘルスケアの基礎知識について」

令和5年9月10日 講師:明治国際医療大学 鍼灸学講座 特任教授 福田文彦 先生

「令和5年度 第二回研修会を受講して」

今回の研修を受けて、「ストレスを受け止める自分が健康であれば、ストレスに打ち勝てる」ということは、心因性障害、メンタルヘルスの問題を抱えている人々に対し、私たち鍼灸師がいかに健康にしていけるのかということをも求められることです。また、社会的支援者の1人として目の前にある精神、身体症状を楽にしてあげるということを考えなければならないということ学びました。

特に、患者様に対してしっかりと傾聴し共感することで、患者様との信頼関係を構築することは、患者様に自身の性格（傾向）とうまく付き合うための生活指導や治療をしていく上で最も重要で、なくてはならないものだと思います。

メンタルヘルスの問題を抱える人々が増えつつある昨今、メンタルの不調は自分も含め、いつ誰がなってもおかしくないと理解し、治療者側も健康でなければならないと感じました。今回学んだ、講習と実技を日々の臨床に活かせるよう精進していきたいです。（報告：伊勢・鳥羽支部 堤 綾子）

第18回日本鍼灸師会全国大会 in 近畿

令和5年10月21(日) スターゲイトホテル関西エアポート

「第18回 日本鍼灸師会全国大会in近畿に参加して」

第18回日本鍼灸師会全国大会 in 近畿が、10月21日(土)・22日(日)大阪府泉佐野市スターゲイトホテル関西エアポートで開催されました。今回は、一つの県ではなく近畿ブロック（滋賀、和歌山、大阪、兵庫、京都、奈良、福井）の師会が主催をされる、初めての試みでした。ブースも業者だけではなく、各県師会ごとに艾を作る体験、ボール投げ、金魚すくいなど、まるで学園祭のようでした。楽しかったです。一般の方も来て、楽しんでいただけるようにいろいろと考えられたとお聞きしました。

いろんな講座がありましたが、『鍼灸による未病養生の可能性を考える』戸村多郎先生の講座を拝聴させていただきました。特に私が惹かれたのは、『エビデンスがある』だけでは人は来ない。知らないものは選べない、待っていつかはダメ。これは、今の私にピッタリの言葉です。今の私は、どんな時も受け身が多いと感じています。先生のお話を拝聴し、いろいろな事に、興味を持つ人でありたいと思いました。来年は、福岡県で全国大会が開催されます。遠方なのでなかなか参加は難しいかもしれませんが、機会があれば参加をしてください。勉強をするのは、全国大会だけではありません。

私たちの師会の勉強会にも、ぜひ参加をしてください。

（報告：愛知県 加藤 はる美）



鹿の解剖と組織観察

令和5年11月5日 杣の森(三重県津市)

生きた鹿を捕獲し、自分たちの手で解剖をしよう！という研修会を行いました。

この企画は今回で2回目です。全国から子供も含め、約50名が津市美杉町の山奥に集まり、一日を楽しく過ごしました。

研修会は檻で捕らえた鹿を食肉解体するところから始まりました。講師（猟師）の早志さんが心臓にナイフを入れ食肉解体、おなかを開いて胸腔、腹腔臓器の説明をしていただきました。まだ湯気の立っている内臓は新鮮で、私はせっかく機会なので、肺や腸、腎臓に鍼を刺して、内臓刺の感覚を試しました。参加者は、顔面部、股関節や膝関節、神経、ファシアなど、興味のある部位の解剖に取り組み、用意された3頭の鹿がバラバラになるまで解剖、観察をする事ができました。

また今回の研修会では、数多くの大学で解剖を学び、ファシア研究の一人者でもある愛知県鍼灸師会の銭田良博先生に「鍼灸師はじめてのエコー」と題して、エコーを使った臨床の講義をしていただきました。解剖を行った直後の講義でしたので、エコーを通して見る筋・筋膜がリアルに感じられ、非常に深い学びを得ることができました。

今回の研修会には、子供も十数名参加しており、大人たちが解剖に夢中になっている間、川遊びや木登り、虫取りなどを楽しんだり、自分たちでトッピングをしたピザを食べたりもできました。

自らの手で動物の命をいただき、解剖、観察をするこの企画は、「命」を扱うわれわれ鍼灸師にとって、大事な学びではないかと思っています。また機会があれば開催したいと思います。

（報告：伊賀・名張支部 瀧本一）



集合写真



鹿の解体

第3回学術研修会「療養費制度に関する周知事項」

令和5年11月19日 三重県鍼灸会館

今回の学術研修は、療養費に関する事項や課題に向けての、最新情報や周知事項の共有、疑問への対処に加え、鍼灸施術へのエコーの使用例の報告や、療養費6疾患に対する実技など、内容盛りだくさんの研修会となりました。

来年度は、療養費の料金改訂や、マイナンバー保険証での資格確認が行われる予定となっています。日本鍼灸師会健保委員長の小林先生による、施術所など向け総合ポータルサイトの開設についての解説などにより、従来の保険証からマイナンバー保険証に切り替わることに對して、これからどう対応すればよいのか、見通しを立てることができました。また保険委員長の楠原先生からは、療養費申請書提出時の確認事項を共有していただくことで、DKシステムを信頼して、見落としがちになりがちな確認事項などを再確認することができました。その中には身に覚えのある事項も多々あり、保険部の方に迷惑をかけないようにしなければ…と猛反省しています。

加えて実技では、大ベテランの出口先生の施術内容をじかに見させていただける、またとない貴重な機会となりました。また、組織委員長の瀧本先生からは、エコーを使った実際の症例を共有していただき、感覚に頼りがちな鍼灸施術にエコーを使用することで、より確実で安全な施術を可能にできることや、リスク管理について考える、良い機会となりました。使えるもの、良いものを上手に取り入れて、患者さまのためにより良い施術をしていきたいと思ひます。毎度のことながら、研修会を企画・開催していただく先生方のご尽力により、研修を受けさせていただけることに、感謝の気持ちでいっぱいです。

今回の学術研修は、リアルとオンラインのハイブリッド方式による研修会でした。コロナ禍で、Zoomを用いた研修会が増え、遠方の研修会も気軽に参加できるようになりましたが、やはりリアルでの研修は、会場の空気感を感じることができて良いものです。

ぜひみなさん、三重県で開催される研修会は、会場にて参加されてはいかがでしょうか。

(報告：津支部 矢谷 淑絵)



出口会員



楠原保険委員長



瀧本組織委員長

三重県鍼灸師会ホームページ



野口みずき杯 三重大日 お伊勢さんマラソン大会

令和5年12月3(日) 伊勢サンアリーナ

ボランティア活動に参加して」

三重県鍼灸師会会員は、お伊勢さんマラソン選手の体調管理に長年ボランティア・ケア活動を行って参りました。しかし、コロナ過により大会が3年間見送られていました。昨年、大会は開かれましたがランナーズのケアへの参加ができませんでした。

今回、お伊勢さんマラソンのランナーズのボランティア・ケア活動が出来ることとなり、鳥羽・伊勢支部会員および本会役員理事の先生方の参加8人を得て、ランナーズの走行前、走行後のケアをそれぞれの先生方が選手一人ひとりの要望に応じて最善のケアを行いました。



選手の状態により、セイリン、パイオネックスの貼付、時により豪鍼単刺、ストレッチなどで身体の調整をしました。ケアを受けた選手の中にはマラソン走行に関係のない部位のケアをしてもらってマラソンに行きました。楽になった様で喜びながら帰って行かれました。

このような場所こそ鍼灸の神髄を出せる処だと思います。各鍼灸師の先生方の診断の方法、鍼灸術の見せ所で、とても参考になる研修所のようなところだと思います。

また、ケアの合間、選手が居ない時は会員同士の技術、話しの交流の教室に早変わり、有意義な時間の共有もできました。鍼灸術（医療）の良いところは、鍼（はり）と灸（きゅう）さえ有れば場所を選ばず、清潔を管理すればどこでも診察・治療室となります。

会員同士の技術向上の目的も大変大事です。本会主催で災害時の鍼灸マニュアル・医療マニュアルの技術研鑽の講習会を持ち地域に貢献する事が鍼灸業の生き残りに欠かせない事案だと思います。

三重県下の会員はスポーツ大会事務局より要請を受ければ、会員それぞれが地区の要請に参加できる態勢にしないと、師会の今後のボランティア活動に支障が出てくる可能性があると思います。

今後は顔の見える研修会も必要かと切に感じます。以上報告でした。

（報告：伊勢・鳥羽支部 出口 多賀司）



生きている人間の顔面解剖実習

令和5年10月18(水) in 東京

「解剖実習に参加して」



上) 見学風景 下) 眉下切開



下) 眉下脂肪など



2023年10月18日東京で行われた「生きている人間の解剖実習」に参加しました。実は、目のクマや瞼のたるみに対する美容医療手術を見学しました。大学の時に御献体で学んだ事がありましたが、今回の実習では心臓が拍動し、血液が流れ筋も神経も全てが栄養され、一つの生命体でどのように調和しお互いに影響し合っているのか、その一端が詳細に現れたようでした。例えば、血管の走行、脂肪の概念、通電に対する筋の動き、筋の厚み、教科書で習い御献体から学んだ事が「今、生きている人間」では違う事があったのです。

浅側頭動脈は耳の前を真っすぐ上へ伸びている太い動脈。多少蛇行していても体表から脈が触れる表層にいるのだろうか…と私は思っていました。しかし、ある方の浅側頭動脈は蛇腹のようにウネウネ折りたたまれ奥にいたり表層にきたりしておりました。また、取り出した脂肪はピンセットでつまんでも破れない強い膜で覆われているようにプリプリしており、時間がたつにつれベチョっとなり、その後、雨上がりの落ち葉のようにしなだれます。同じ下まぶたの脂肪でも内側・黒目の真下・外側では脂肪の色や形が違い、小指の爪ほどの大きさの脂肪にも

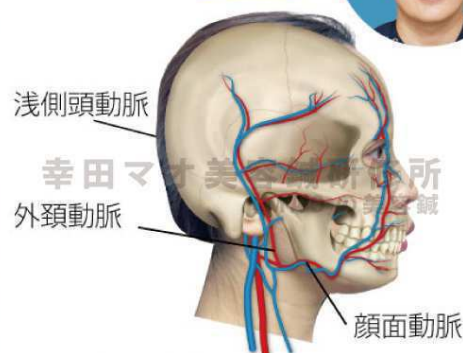
■浅側頭動脈について

■打たない！切らない！存在を知る

浅側頭動脈は、脳梗塞などが発生した際に拘束場所から先へ血流を送るためのバイパス手術で使われる大切な血管です。



美容外科オペなどで、気にせずさくっと切ってしまう映像を目にするときがあります。元、脳外科医としては、この血管の温存をお願いしたいです。



太い1本線ではなく、まるでちぢれ麺…しかも細い！私達が習ってきたものと、随分様子が違います。ここは動画教材と鍼の実技研修で現実世界とリンクするようにしておくことをオススメします。鍼は刺さない or 刺した時は圧迫 5～7分間！

細い血管が張り巡らされておりまして。そして、教科書ではキレイに分かれている筋も、実際はとても薄く、これが○筋・これが△筋と分けるのはとても難しいものでした。例えば、目の周りの筋として有名な眼輪筋。白衣の生地と眼輪筋どちらが分厚いか僅差の勝負になるくらい薄いです。寝不足や疲労でピクピク収縮をし存在を主張してくる眼輪筋が、こんなにも薄い筋だったとは思いませんでした。

医療は今ある確かな情報と不確かな情報の混在で成り立っていると思います。そして、その今ある確かな情報は先人が多くの批判や意見を受けながら時間とお金と労力と各々の思いをかけ未来へと切り開いてきた道で得た財産です。その確かだと思われている財産も科学技術の発展で見方や見える物が変われば、一夜にして覆されることがあります。なかには、今までの常識がウソだったのかと思われる方もおられるでしょうが、決してウソだったわけではありません。それがその時代の人々が見える限界だったというだけです。新たなことを提唱したり検証したりするとき、さまざまな波風が立ちます。でも、医療とは常識をそのまま捉えるのではなく、目の前で起こっている現象をいろいろな角度で捉え検証し証明していくから、見えなかった物が見え発展していくのだと改めて感じました。

最後に今回の貴重な経験を可能にくださった先生方に心から感謝申し上げます。手術に立ち会い、質問をしながら学ぶ機会は二度と巡ってこないと思います。幸田マオ先生、美容外科のドクター、モデルとして手術を受け見学を受け入れてくださった鍼灸師の方、Zoom配信・写真を撮られたカメラマンの方々、学びの時間をともに過ごした鍼灸師の先生方に深く感謝いたします。

今後、この知識が広く共有され医療の新たな常識となって行くことを心より願っております。

(報告：桑名・いなべ支部 堀田 三華子)

(公社)日本鍼灸師会 令和5年度 東海北陸ブロック会議 in 富山

令和5年10月8日(日)・9日(月・祝)

令和元年のブロック編成後に本会担当から始まった表題のブロック会議も5回目となり、6県7師会の27名が富山県鍼灸マッサージ師会会館に集まり開催されました。コロナ禍により令和2年度、3年度はオンライン会議でしたが、昨年の静岡より対面での会議が再開され、会議の進行方法も調整され協議事項の時間が増え、今まで以上に活発な意見交換、質疑応答をすることが出来ました。

日本鍼灸師会の中村会長によるあいさつから始まり、今年度より新体制となつての日本鍼灸師会の現況説明、児山副会長による事業説明を受けてブロック会議に入りました。

初めに日鍼会への質問・意見・要望で、療養費関連、今後予定されているマイナ保険証の取扱について、医療連携、病院鍼灸についての説明・意見交換が行われ、続いて各県師会からの事業計画・報告についての質疑、意見交換後、議案上程による審議から始まり、養成学校卒業生の進路傾向、業団・学校・業者などの組織の連携について意見をかわし、最近の患者動向、病院での鍼灸治療についての賛否、会報などの広告収入、災害協定などを報告して2日間の協議を予定通りに終了しました。

例年取り上げられる組織強化について各師会間で情報交換を行い、鍼灸師として、また業団として「国民のための鍼灸とは何か？」についても貴重な意見交換並びに情報収集をさせていただいた2日間となりました。この会議の成果を今後の会の運営に活かせるようにしていきたいと思います。令和6年度のブロック会議担当は石川県鍼灸師会で、会場は能登・いこいの村10月13日(日)～14日(月・祝)開催の予定です。

(報告：鈴鹿・亀山支部 楠原秀一)

第56回 三県合同鍼灸研修会 in ウィンク愛知

令和5年 11 月 26(日)

11月26日(日)、今年で56回目を数える三県合同鍼灸研修会が(一社)愛知県鍼灸師会の主催で開催されました。今回は3部形式での開催となっており、第1部は「あるあるヒヤリハット」として各県師会からの代表の先生方から10分程度のヒヤリハットの経験をお話しいただき、フロアとの質疑応答を行いました。

日常の臨床で経験する(あまり良くないことですが...)鍼の抜き忘れやお灸による火傷などといったヒヤリハットから、重篤な疾患が隠れていることに気づいたor気づかなかったという診察と病態把握に関するものまで、先生方のご経験を共有することによって多くの学びがありました。

第2部は「鍼灸メーカー、代理店からみた鍼灸師像」として、日ごろ我々を支えてくださっている各メーカー・代理店様からの率直な意見として、トレンドや業界の流れを考えた上でのこれからの鍼灸師に必要な事や、できる(≡儲けている?)鍼灸師の共通点について伺うことができました。ともすれば閉鎖的で近視眼的になりがちな鍼灸業界ではありますが、まずは「一社会人」としての視点を持ち続け、社会の動きや流れを広くアンテナを張ってとらえることの重要性を再認識しました。メインとなる第3部は松浦哲也先生にご登壇いただき、「豪鍼や温灸器を使った戦場鍼(BFA)の実技講演」と題してご指導をいただきました。戦場鍼(=Battle Field Acupuncture 以下BFA)は以前にNHKのTV番組でも紹介されましたが、米空軍の軍医であったDr. Richard Niemtzwow(ニムゾフ退役軍医大佐)が2001年に名付けた鍼法で、アメリカ空軍が正式に疼痛管理やPTSDの治療法として採用している方法です。BFAについて松浦先生の軽妙な語り口で概要をわかりやすくご説明いただいた後に、温灸器や5分の毫鍼を使用した実技の指導、またASPと呼ばれる特殊な器具を使ったBFAの受療体験(本会からは松山理事が体験)といったボリュームのある内容で、あっという間の2時間の実技講演でした。

今回の一連の研修は自身の見識を広げ、より多くの鍼灸師それぞれを必要としていただける患者様との出会いにつながるような、ヒントをいただいた貴重な機会となりました。また、こういった勉強会がないとなかなかお会いすることのできない先生方との旧交を温める場としても、来年の三県合同鍼灸研修会を今から楽しみにしています。

(報告:四日市支部 奥田一道)

《 広報からのお知らせ 》

会員の皆様の活動報告を随時募集しております。

1, 000文字以内で活動内容のご報告をお待ちしております。

① 題名 ②活動日 ③活動場所 ④写真(あれば) ⑤報告者名 ⑥所属支部

上記6項目を添えて三重県鍼灸師会へメールにてお送りください。

(送り先 harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp)

令和5年度三重県・鳥羽市・伊勢市総合防災訓練

令和5年11月26日(日) 鳥羽市旧長岡中学校

今回で2回目の参加となる三重県総合防災訓練に鍼灸師会として参加をしました。この訓練は、南海トラフ地震を想定して行われた訓練で、鳥羽市保健福祉センターを中心に、答志島や神島からのヘリを使った救助訓練や、約10カ所のサブ会場で物資輸送訓練、応急救護訓練、救出救助訓練、避難所運営訓練、通信普及訓練、遺体安置所設置などが行われ、自衛隊や自治体職員をはじめ、県内のインフラを担う企業や協力団体が多数参加しての大規模訓練です。私たちは、啓発展示ブースでパイオネックスを使った健康相談を行いました。海辺の町ということもあり、参加者は漁業関連の方が多く膝の痛い海女さんの泳ぎ方や、漁師さんの網の引き上げ方の相談を受け貴重な体験もさせていただきました。同じ会場の看護師会をはじめ関連企業の方とも顔を合わせてごあいさつをさせていただき、いざという時の引き出しが増えたと思います。また、来年も参加予定ですのでご希望の方はぜひ一緒に行きましょう！

(報告：伊賀・名張支部 瀧本一)

2023 年度全国師会長会議報告

令和5年12月3日 in 東京

2月3日(日)、葛飾区かつしかシンフォニーヒルズ別館レインボーホールにおいて、開催されました全国師会長会議に出席してきました。品川駅から京成線で約40分、桑名から津駅近くまでの時間がかかり、東京は広い！と感じました。今年度は新しい試みとして13時から14時55分までの会議中に、「地域における様々な取り組み例発表」を織り込み15時から講演が開催されました。

会議では、中村会長から「日本鍼灸師会の今後の方向性について」、児山副会長からは「日鍼会からのお知らせとお願い(会員数4,112名)」、各委員会からのトピックス(保険・研修・組織・地域ケア推進・国際・広報普及・ITが説明)と続きました。各師会事前質問・意見・要望は回答集を参照。

上記の「地域における様々な取り組み」では、(一社)愛知県長谷川会長が、三県合同研修会の50年以上の遍歴について発表されました。その他、関東甲信越はブロック合同研修会について、徳島県師会は親子スキンタッチ教室について、高知県師会は介護予防研修などについて、各地域の取り組みに関し情報交換ができ良い試みだと感じました。2024年度全国大会は福岡県での開催です。それ以降の開催場所は立候補を受け付けていること、2024年度の行事日程の説明等で会議時間は終了しました。15時からの特別講演講師は、明治国際医療大学鍼灸学部長伊藤和憲先生で「未来の鍼灸には何が必要か？」の演題で、変わる医療：寿命から健康寿命に変化。国が目指すビッグデータ構想：どうしている人が病気にならないか・どうしている人が病気になるか・予防はエビデンス化できないので経験をデータ化する。養生を社会で実践するため地域コミュニティを再考：つながりを持ち認知症・うつ防止・薬を効かせるための鍼灸・身体をコンディショニングし未病を見える化。実際取り組んでいる課題をお話いただきました。皆様もご存知のように伊藤先生は鍼灸のエビデンス構築のために様々な研究をされてきました。「私は鍼灸受療率アップのため様々なエビデンスを構築しメディアでも発信してきましたが、受療率アップにはつながりませんでした。そこで鍼灸の本来の姿である未病にシフトチェンジしました。養生は親から子に伝えるべき文化です。地域の環境、社会的つながりを作りお薬のように“街を処方”したいと思います。」最も印象に残ったお言葉です。(報告：岡田 賢)

みえ松阪マラソン

令和5年12月17日 in 松阪市



12月17日（日）、三重県松阪市で開催された「みえ松阪マラソン」のケア活動に、本会の一環として参加いたしました。寒い日でしたが、岡田会長を含む本会員5名と阪井さんの計6名が協力し、無事にケア活動を終えることができました。寒さにも関わらず、ランナーからの温かい言葉や達成感が活力となりました。



三重県唯一のフルマラソンとして知られ、ケア活動は9時から17時までの長時間でした。ゴール後のランナーのケアが重要であり、お伊勢さんマラソンのケア活動とは異なる挑戦でした。鍼やお灸を使用できたため、先生方も普段の技術を活かし、楽しくかつ有意義な時間を過ごしました。



寒さに耐えながらも、ランナーの笑顔や励ましの言葉があり、一瞬の苦勞も報われました。来年の参加を決意させられる瞬間でもありました。今回は約100人のランナーが利用しましたが、待ち時間が1時間近くに達し、諦めるランナーもいたため、来年度はより多くの先生方の協力を得て、スムーズなケア活動を提供できるよう努めます。

風対策や寒さ対策に課題があり、次の活動に向けて改善点を見つけました。

（報告：伊勢鳥羽支部 奥山敬太）

<< 保険部から連絡事項 >>

- ① 能登半島地震に伴う、一部負担金の取扱いについて厚労省から事務連絡を受けましたのでお知らせ致します。

「令和6年能登半島地震に伴う災害の被災者が受けたはり師、きゅう師及びあん摩マッサージ指圧師の施術に係る医師の同意書等の取扱いについて」

事務連絡のなかで一部負担金については

(3) なお、事務連絡の一部負担金等の取扱い（免除及び猶予）は、療養費については対象とされていないので申し添える。

とあり、保険医療機関等とは異なっているのでご注意ください。

- ② 「オンライン資格確認で、施術所向けポータルサイトの登録開始時期について」

厚労省より、ポータルサイトのユーザー登録、利用申請の開始は現在準備中、アプリのリリースは1月末を予定しております、との連絡を受けましたのでお伝え致します。

また、新たな連絡がありましたら報告致します。

施術所向けオンライン資格確認 ポータルサイト

<https://iryohokenjyoho.service-now.com/omf>

令和5年度 第3回理事会報告

日時：令和5年8月27日（日）13:00～15:50

場所：オンライン（Zoom）会議

出席：岡田 賢、新谷有紀、楠原秀一、奥山敬太、松山真理子、堀田三華子、
東 淳子（以上、理事）、仲家栄一、加藤はる美（以上、監事）

欠席：瀧本 一

書記：楠原秀一、新谷有紀

議事録署名：岡田賢（代表理事）、仲家栄一、加藤はる美（監事）

審議事項

第1号議案 令和5年度中間調査日程の件

第4回理事会までに中間期（4～9月）の調査を監事、法人管理、事務職員で行い
理事会報告。

第2号議案 東海北陸ブロック会議の件

富山県が担当するブロック会議について、議案上程および要望書、資料を期日まで
に作成し提出。出席者は正副で調整。

第3号議案 一見隆彦先生褒章受章祝賀会の件

10月1日（日）当日までスケジュールに沿って準備を進める。

第4号議案 鍼灸フォーラム開催案の件

参加対象の絞り込み、講師の選任と講義内容の検討、来場しやすい会場選びと日
程等企画案を見直ししながら鍼灸師（学生）の繋がりを深める機会となるよう準備。

第5号議案 継続審議事項の件

みえ市民ボランティアセンター・平時のプラットフォーム参加について

登録することで平日会議等負担が増えることが懸念される。活動内容を確認して再度審議する。

第6号議案 議案上程を含むその他件

議案書1. 第3回学術研修会（療養費）について

（1）開催日程は、計画通り11月19日（日）を予定。三県研修会（愛知担当）に開催日
程を確認して決定する。

（2）日鍼会小林副会長（健保委員会委員）に講師を依頼。また療養費対象6疾患の鍼灸施術
実技、医師同意書の取り方等について会員に依頼する。

議案書2. 第4回学術研修会講師について

伊勢市の徳田ファミリークリニック医師 徳田玲子先生（対面）講師を依頼し内諾。日程は、
1月28日（日）か2月4日（日）会館で調整中。終了後に講師を囲み意見交換会を行う。

議案書3. 研修会案内文書について

研修会開催の案内は学術と広報でポスター作成して会員と養成校に送付。

議案書4. 研修会申し込み方法見直しの件

研修会の申し込みは、基本Peatixまたはメールとするがメールアドレスを把握
している会員は電話でも受け付ける。当日入室トラブルが発生した場合の電話
対応の担当を決めておく。

議案書 5. 役員報酬等について

役員の自宅作業時間は多く負担が増している。現在停止している役員報酬、オンラインでの打ち合わせ日当について次年度に向け検討。

議案書 6. 取引先との連絡方法について

現在、事務所を通して取引先に郵送している文書や請求書等のやり取りを取引先に確認のうえ担当が直接メール（CC：理事ML）で行えるようにする。

令和5年度 第4回理事会報告

日 時：令和5年11月19日（日）10：00～12：00

場 所：会館／Zoom

出席：岡田 賢、新谷有紀、楠原秀一、瀧本 一、奥山敬太、松山真理子、
東 淳子（以上、理事）、仲家栄一（監事）

欠席：堀田三華子（理事）、加藤はる美（監事）

書記：楠原秀一、新谷有紀

議事録署名：岡田賢（代表理事）、仲家栄一

審議事項

第1号議案 令和4年度事業及び予算執行の件

津シティマラソンおよび子育て応援わくわくフェスタへの参加は主催者側の都合により取りやめとなりスキルアップ事業を追加案で計画し執行。また、「被災者支援協働プラットフォームの必要性～平時から『つながり』をつくる」調整し参加。

第2号議案 令和6年度事業及び予算の件

学術：研修会は、医師鍼灸師から選任し4回開催で計画（療養費含む）。

普及：松阪マラソン、お伊勢さんマラソン、青蓮寺駅伝大会へのケア活動。

冊子カレンダー等普広報：会報発行（2回）

青年：スキルアップ事業として各年代別会員の施術体験談及び意見交換を計画。

組織：養成校との繋がり強化策を考案。

保険：審査会委員に、天野、森田両会員に依頼。関係各所表敬訪問（夏・冬）。

法人：理事会の開催は5回。必要に応じて臨時理事会を開催。

第3号議案 議案上程を含むその他の件

議案書 1. 研修会イベント等での借用機材の使用料について

研修会配信機材等については、使用お礼として1回5,000円とする

議案書 2. 組織：2月26日鈴鹿医療科学大学説明会開催について

岡田会長、瀧本組織委員長、奥山青年委員長で参加調整し準備。

議案書 3. 日本鍼灸師会Manable（マナブル）への参加について

6年度から参加で準備を進め、4年目以降の料金について日鍼会から情報収集。

（報告：松阪支部 新谷 有紀）

【表紙：海山道神社】

海山道開運稲荷神社と称し「みやまどさん」と地域の方々に呼ばれている伊勢路の伏見稲荷総社です。海でも山でも道を切り開いて開運を運んで下さる。お金やお客さんを運べば商売繁盛、車や船を運んで交通安全・海上安全・旅行安全、筆を運んで受験合格・就職出世成功、その他縁結、子授、安産、病氣平癒、借金取り等道を切り開いて都合良く運ぶ開運諸願成就のあしどめ稲荷さま。

「あしどめ稲荷」の意味をみなさんはご存じでしょうか？すべての災難盗人病魔逃亡人落物魚族客人の足をとめて福を授けてくださるという意味だそうです！日本は昔から八百万の神と人が信仰する神様は数多くおり、他者の信仰や思想をお互いに尊重してきました。

多様性が言われる昨今、みなさんの思いや思考が実りますよう、新しい年の表紙に海山道神社の鳥居を選びました。みなさん、実り多き一年になりますよう。

(広報委員長 堀田 三華子)

一般社団法人三重県鍼灸師会 会報第133号 (令和6年2月10日発行)

発行者

一般社団法人三重県鍼灸師会 会長 岡田賢

〒514-0004 三重県津市栄町二丁目325番地

TEL 059-227-3345

MAIL harikyu_mie@vesta.ocn.ne.jp

発行責任者

堀田三華子(広報委員長)

表紙写真提供

海山道神社

ディスポ鍼 光華
(1箱 100本入)
KN-160 900円 (税込990円)
〔クラスII〕 認証番号 220AGBZX00234000
針体材質：ステンレス製
エチレンオキシドガス滅菌済
●1寸～1寸6分・・・AIリリース方式
2寸・・・タブ付 (ストッパー付)

ディスポ鍼 光華【長針】
(1箱 100本入)
KN-160 1,700円 (税込1,870円)
〔クラスII〕 認証番号 220AGBZX00234000
針体材質：ステンレス製
エチレンオキシドガス滅菌済
●タブ付 (ストッパー付)

- 鍼を鍼管からスムーズにリリースできます。
- 刺入時の切皮痛を極限にまで減少しました。
- アレルギー予防のコーティング。

AI 設計の鍼管は施術時のリリース動作をより効率的にいたしました。
※但し、針長2寸 (60mm)～3寸 (90mm) のサイズは AI リリース方式ではなく、タブ付の鍼管になります。

長さ	太さ	カラー	1寸 30mm	1寸3分 40mm	1寸6分 50mm	2寸 60mm	3寸【長針】 90mm
0番 (0.14mm)		白	○	○			
1番 (0.16mm)		緑	○	○	○		
2番 (0.18mm)		黄	○	○	○		
3番 (0.20mm)		青	○	○	○	○	
4番 (0.22mm)		桃		○	○	○	
5番 (0.24mm)		紫		○	○	○	○
8番 (0.30mm)		白			○	○	○

鍼電極低周波治療器

Lasper-A・MC

KANAKEN

エース エムシー
ラスパーA・MC

鍼電極低周波治療器

+

マイクロカレント

マイクロカレントは実績のデュアルクロス通電方式

この1台で鍼治療は「新たな時代」を迎える



エース エムシー
ラスパーA・MC

(1箱 100本入)
KN-600 69,000円 (税込1,870円)

〔クラスII/特管〕 認証番号 230ALBZX00034000



総発売元

株式会社 カナケン

本社：〒225-0002 神奈川県横浜市青葉区美しが丘2-17-39

TEL_045-901-5471(代) FAX_045-902-9262

大阪営業所：TEL_06-6935-3016(代) FAX_06-6935-3017

新潟営業所：TEL_025-286-0521(代) FAX_025-286-8870

福島営業所：TEL_024-961-7211(代) FAX_024-961-7221

仙台出張所：TEL_022-287-6273(代) FAX_022-287-6218



オンラインショップ

◀ 公式サイトはこちら

<http://e-kenkou.jp/>

第73回 公益社団法人 **宮城県初開催** 全日本鍼灸学会学術大会 宮城大会



写真提供：宮城県観光プロモーション推進室

つながり、通じ、いかす鍼灸

— 多様性の探究と連携医療への展開 —

会期

2024.5.24(金)▶▶5.26(日)

会場

仙台国際センター

仙台・宮城観光PRキャラクター
むすび丸



大会会頭

高山 真 東北大学大学院医学系研究科 漢方・統合医療学共同研究講座 特命教授

実行委員長

三瓶 真一 三瓶鍼療院（公社）全日本鍼灸学会 東北支部学術委員

運営事務局

株式会社 東北共立

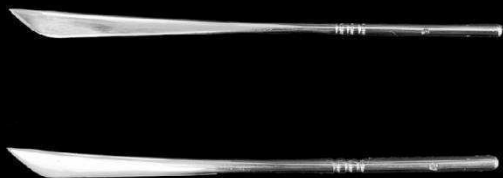
〒982-0001 宮城県仙台市太白区八本松二丁目 10 番 11 号

QRコードから
大会HPへ
アクセス!

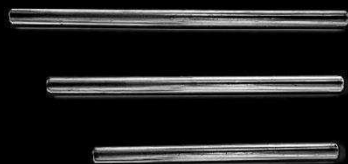


写真提供：宮城県観光プロモーション推進室





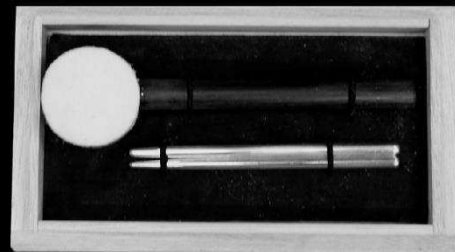
証刀鍼 99mm 鋼焼き入れ
証問鍼 99mm 銅



杉山流復刻銀管 純銀 (極太銀管)



森本式てい鍼セット 金(18K)・純銀・銅・亜鉛



打鍼セット 4Φ×85mm

鍼・灸・鍼灸周辺機器、用品等
てい鍼のことなら



イトウメディカル
I T O M E D I C A L

〒500-8841

岐阜県岐阜市高野町5-18

JR岐阜駅・名鉄岐阜駅より 徒歩約8分
駐車場完備

TEL

(058) 266-4598

FAX

(058) 266-7060

HP

<http://itohari.com/>

ネット注文

<http://itohari.shop/index.html>

E-mail

ito.hari@tiara.ocn.ne.jp



HP



オンラインショップ

夢に効く仲間力。

同じ目標に向かい、高め合い、磨き合い、想い合い、ナッジし合っています。

Synergy



厚生労働大臣認定・愛知県知事認定・指定 学校法人 葛谷学園

中和医療専門学校
Chuwa Professional Training College of Medical Care
(公社)東洋療法学校協会・(公社)全国柔道整復学校協会加盟校

www.chuwa.ac.jp

WEBサイトは
こちら



〒492-8251 愛知県稲沢市東緑町 1-1-81 TEL 0587-23-5235 FAX 0587-23-5237

文部科学大臣認定 職業実践専門課程

はり、きゅう科(専科)



あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科(本科)

柔道整復科 I部(柔整科)

Synergy(シナジー)は仲間力。中和は仲間力による自発的でワクワクできるナッジ・エデュケーションを推進しています。

東京海上日動のトータルアシストからだの保険（所得補償）

☆所得補償は ケガや病気で働けない期間 あなたの所得を補償する保険です☆

■業務中・日常生活を問わず補償

業務中はもちろん、レジャーや海外旅行中のケガ・病気で仕事を休まれた場合、保険金をお支払いします。

■入院はもちろん自宅療養もカバー

治療のために入院していること、または入院以外で医師の治療を受けていることにより、全く働けない場合に保険金をお支払いします。



保険期間1年 保険金額(日額)		お支払いいただく保険料					
所得補償	1日あたり5,000円 (免責日数7日) (てん補日数365日)	ご契約年齢 お支払方法	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳
		月払	2,720円	3,250円	3,770円	4,030円	4,240円
		年払	31,090円	37,110円	43,040円	46,050円	48,440円

上記はご契約パターンの一例です。これ以外のパターンをご希望の場合は代理店にご照会下さい。

※ご契約年齢は、被保険者（保険の対象となる方）の保険期間開始時の満年齢をいいます。

※所得補償保険金額（日額）は、年間所得額に応じて設定ください。

「被保険者様が加入されている公的医療保険制度（国民健康保険またはそれ以外）によって保険金額の設定が異なります。」

■返れい金のお支払いはありません。（2013年10月改定）

■ご加入の際、医師の診査は不要です

健康状態告知書にあなたの健康状態を正しくご記入いただければOKです。

※ご記入いただいた内容によっては、ご加入をお断りしたり、弊社の提示するお引受け条件によってご加入いただくことがございます。

※ご契約後に保険のご契約内容・告知内容等について、確認のお電話をさせていただくことがございます。

「トータルアシストからだの保険（所得補償）」は傷害総合保険（所得補償条項）のペットネームです。

このチラシは傷害総合保険（所得補償）の概要についてご紹介したものです。ご契約にあたっては必ず『重要事項説明書』をよくお読み下さい。

また詳しくは『ご契約のしおり（約款）』をご用意しておりますので、必要に応じて、代理店にご請求ください。

ご不明な点等がある場合には代理店までお問い合わせ下さい。

《お問い合わせ先》

◇取扱代理店：株式会社あつこ保険事務所 代表取締役 奥井 あつ子

住所：〒510-0085 四日市市諏訪栄町5-16-2F

TEL/FAX：059-350-2433

◇引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社 三重支店 四日市支社

住所：〒510-8515 四日市市鵜の森1-3-20 萩ビル6F

TEL：059-354-8613

医療・福祉の総合大学で スペシャリストをめざす。



保健衛生学部

放射線技術科学科
医療栄養学科
臨床検査学科
リハビリテーション学科 理学療法学専攻
リハビリテーション学科 作業療法学専攻
医療福祉学科 医療福祉学専攻
医療福祉学科 臨床心理学専攻
鍼灸サイエンス学科 鍼灸・スポーツトレーナー学専攻
鍼灸サイエンス学科 鍼灸学専攻
救急救命学科

医用工学部

臨床工学科
医療健康データサイエンス学科 データサイエンス学専攻
医療健康データサイエンス学科 診療情報管理学専攻

薬学部

薬学科

看護学部

看護学科

大学院

薬学研究科 医療薬学専攻
医療科学研究科 医療科学専攻

大学公式 HP
<https://www.suzuka-u.ac.jp/>



- 千代崎キャンパス 〒510-0293 三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1
- 白子キャンパス 〒513-8670 三重県鈴鹿市南玉垣町 3500-3

大学附属・関連施設

完全独立型緩和ケア病院
桜の森病院



東洋医学研究所



鍼灸治療センター



こころのクリニック



こころの相談センター



社会福祉法人サums会
桜の森白子ホーム



SUZUKA UNIVERSITY OF MEDICAL SCIENCE

鈴鹿医療科学大学

本格的かつ適度なあつさと、
扱いやすさを備えた台座灸。

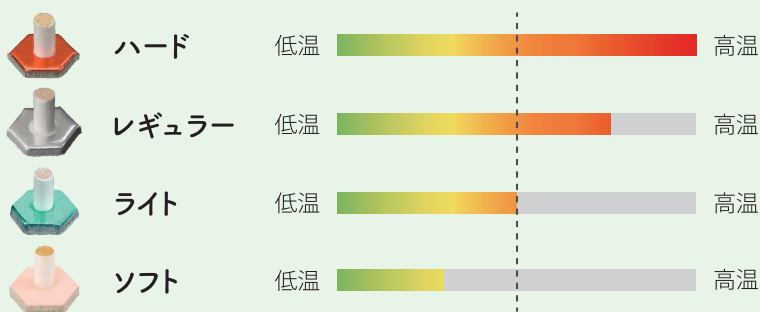


長生灸

50 壮が一枚になったスマートな構造
簡単に一粒ずつ取りはずせる

温度の上昇・下降の間隔が早く
昔ながらの点灸のような
熱刺激を与える

様々な用途に使用できる
選べる 4 つの
温熱タイプ



より鍼灸を知ってもらうために

詳細はQRコード



「鍼灸ハンドブック」シリーズ

大 好 評 発 売 中 !!



わかりやすい!

はじめての方にも
鍼灸のことが
簡単にわかる

アリガトウ

お客様に
渡せる!!



高品質!

高品質・低価格で
ご提供!



大好評!

好評につき
シリーズ順次追加中

かんたん!

できるだけ
簡単な表現で
説明しています。



購入しやすい価格

1冊 ¥38

詳しくは裏面をご覧ください



メイプル名古屋オリジナル制作

管理医療機器 セイリン鍼 滅菌済み鍼
医療機器認証番号:15500BZZ00805000

＼MにAyameがつけました！／

新商品

M-Ayame

エム・アヤメ

point 1

綾目(アヤメ)模様

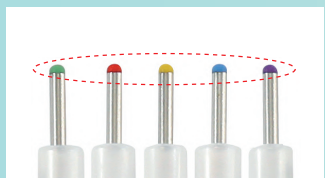
金属の柄に特徴的な綾目(アヤメ)模様が施されています。



point 3

カラーキャップ

鍼柄のカラーキャップで鍼の太さを識別できます。



point 2

ピールしろ

ピールしろが長くなり、つかみやすくなりました。



point 4

シリコーンフリー

SP鍼尖技術とは?



これまでの研削工程に加え、「先端研磨加工」技術の確立により、鍼尖が丸い鍼を実現しました。



M-Ayame
サンプル希望は
こちらから

No.	01	1	2	3	5
鍼経(mm)	0.14	0.16	0.18	0.20	0.25
鍼長30mm	●	●	●	●	●
鍼長40mm	●	●	●	●	●
鍼長50mm	△	●	●	●	●

ご使用に際しては、電子添文をよくお読みください。添付文書をご希望の方は弊社 HP または営業員までご連絡ください。



ISO13485 認証取得

■フリーダイヤル(通話無料)はこちらから



0120-100890

■詳しい情報は、当社WEBサイトでもご覧いただけます

<https://www.seirin.jp>

【製造販売業者】セイリン株式会社 【住所】〒424-0037 静岡県静岡市清水区袖師町1007-1